

ワタシの留学成功体験談 **Voices of Attendant**



志和 あかね

Akame Siwa
Brescia University
(Kentucky)

私の大学は1000人弱しか生徒がいなくても小さな大学なので、先生もみな生徒一人一人ととても親密で、フレンドリーです。授業も1クラス多くて15人程度なので、留学生でも質問しやすく勉強の環境はよいと思います。月～木曜までは本当に1日中勉強です。毎回宿題がでて、テストも頻繁にあります。でも金曜だけは午前中で授業が終わります。でも金曜だけは午前中で授業が終わります。

この金・土の二日間だけはパーティーや映画を見たりしての～んびりしてます。日曜からは月曜にむけてまた勉強です。日本と比べるとやはり勉強の量が多いので、授業数は少なくともかなりreadingをしなくてはなりません。今はクラスや宿題など1日があっというまに過ぎていきます。とにかく毎日大変ですが、その分とても充実して楽しい日々です。



小野 救

Sukui Ono
Alliant International University
(California)

大学では最初のシーズンではとても素晴らしい経験ができました。NAIAのチャンピオンシップに参加し、私の所属するチームは、全米7位という過去最高の成績を収め、自分自身もシーズン中に5得点をあげることができました。このような素晴らしい経験ができたのは、このプログラムに参加し奨学金をもらいながらチームに参加し、同時に英語力を飛躍的に向上させる機会を頂けたからです。このプログラムにはとても感謝しています。もっとたくさんの人に留学の夢をかなえてもらいたいです。



過去の受け入れ大学一例

- Auburn University at Montgomery Alabama
- Faulkner University Alabama
- Spring Hill College Alabama
- University of Montevallo Alabama
- Alliant International University California
- Central Connecticut State University Connecticut
- Jacksonville University Florida
- St Thomas University Florida
- Webber International University Florida
- Columbus State University Georgia
- Shorter College Georgia
- McKendree College Illinois
- IOWA Wesleyan College Iowa
- Hesston College Kansas
- Brescia University Kentucky
- Lindsey Wilson College Kentucky
- Mid-Continent College Kentucky
- Union College Kentucky
- University of Maine Maine
- Columbia College Missouri
- Hannibal LaGrange College Missouri
- Harris Stowe State College Missouri
- Lindenwood University Missouri
- Missouri Baptist University Missouri
- Missouri Valley College Missouri
- Washington University in St. Louis Missouri
- William Woods University Missouri
- College of the Southwest New Mexico
- St. Andrew's Presbyterian College North Carolina
- Dickinson State University North Dakota
- Southern Nazarene University Oklahoma
- Lander University South Carolina
- University of Sioux Falls South Dakota
- King College Tennessee
- Lambuth University Tennessee
- Lincoln Memorial University Tennessee
- Martin Methodist College Tennessee
- Maryville College Tennessee
- Tennessee Tech University Tennessee
- Tennessee Wesleyan College Tennessee
- Virginia Intermont College Virginia
- Lawrence University Wisconsin

【奨学金プログラム大学に関して】

本奨学金プログラムの参加大学は、全米27州70大学以上に上ります。プログラム参加大学の多くは、日本人留学生の少ない小規模のリベラルアーツ系の大学が中心となっています。また、多くの大学が、米国の単位認定団体から認定された大学で、各リサーチ団体や各出版社の発表するランキングでも評価を受けている大学が多く参加しています。

【リベラルアーツ系の大学とは？】

アメリカの大学は大きく分けて総合大学とリベラルアーツ大学に分かれます。一般的に、総合大学は、リサーチを行う大学院などを併設し深い専門知識を身に付ける教育を行い、リベラルアーツ大学は、幅広い教養や、分析力、発想力、論理力など社会に出てぶつかる様々な問題を自分で考え解決する力を養う教育を行っています。

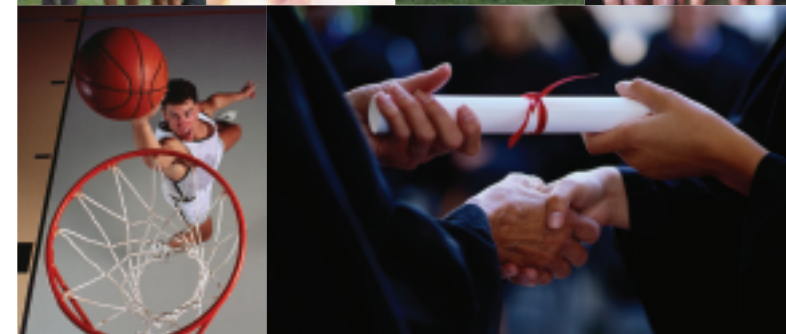
※参加大学は毎年増減します。必ずしもこれらの大学が参加するわけではありません。



ご案内

アメリカの大学が返済不要の奨学金を支給します。

**米国大学奨学金留学
米国大学スポーツ奨学金留学**



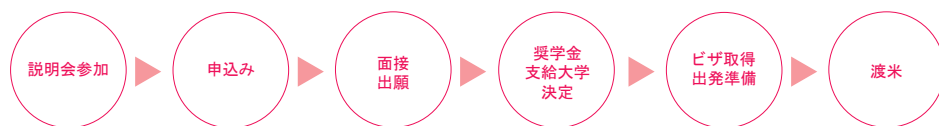
米国大学スカラーシップ協会
American Collegiate Scholarship Association
www.scholarship.jp

米国大学奨学金プログラム

アメリカの大学が、返済不要の奨学金を支給します

このプログラムは、奨学金を受けながらアメリカの大学で学びたい日本人留学生と、授業料、寮費、食費の総額の50%以上の奨学金を支給する大学とを結びつけるプログラムです。

このプログラム参加大学は、従来のように、英語力や学力の優秀な学生に対してのみ奨学金支給をするというのではなく、キャンパスや町の国際化や異文化交流、異文化理解に積極的に貢献していただける学生に対しても支給するものです。現在の英語力や高校・大学での成績のみで決まるものではありません。いわば、希望者全員に平等にチャンスのある奨学金プログラムです。奨学金はすべて返済の必要のないもので、在学中は毎年、継続的に支給されます。語学力が授業についていくレベルに達していない場合は、大学付属の英語学校に在籍することになりますが、語学学校在籍期間中も奨学金が支給されますので、米国への大学へ留学を希望する学生にとって、たいへん大きな経済的支援となります。



※詳しくは代理店にお問い合わせ下さい。

米国大学スポーツ奨学金プログラム

アメリカの大学が、トライアウト参加者に奨学金を支給します

このプログラムは、地元の大学2校の監督と医師、現地スタッフらの運営によって約2週間にわたって行われます。期間中、全米中から、留学生のスポーツ選手獲得に興味のある監督が集まり、参加者の練習や地元選抜チームとの練習試合を観戦します。これらの内容を見たうえで各大学の監督は参加者の奨学金の割合を100~50%の割合で決定し、直接学生と入学の交渉にあたります。

この3週間のアメリカ滞在中はスポーツ活動以外に、参加者に対し、文化、社会、学習活動の場が与えられます。歴史的観光地の訪問、他の大学への学校訪問、学校説明会への参加、国立公園や観光地への遠足、ショッピング、スポーツ観戦等のレクリエーション活動も行われます。

参加者はアメリカ滞在中、24時間警備、コンピュータールーム、図書館、プール、その他の各施設を完備した大学構内の寮にて宿泊し、学生のライフスタイルを事前に体験することができます。



※詳しくは代理店にお問い合わせ下さい。

Academic

奨学金支給例 (US\$)

		費用概算	奨学金	自己負担費用
A大学	カリフォルニア州	23,500	13,500	10,000
B大学	ケンタッキー州	16,500	10,000	6,500
I大学	アイオワ州	21,000	14,000	7,000
M大学	ミズーリ州	18,500	12,000	6,500
H大学	カリフォルニア州	30,500	16,500	14,000
L大学	ウィスコンシン州	31,100	16,100	15,000
C大学	テネシー州	23,000	15,000	8,000
M大学	テネシー州	26,950	14,000	12,950

※費用は、夏休みを除く1学年の授業料、寮費、食費の合計です。

Question & Answer

何故、アメリカの大学が留学生に奨学金を支給して頂けるのでしょうか？

大学により理由は様々ですが、基本的には、校内の文化的多様性の促進を目的としています。大学内に留学生を迎え入れることで、地元の学生が異文化を理解し、また学生間の交流を図ることができると考えているからです。

過去の実績を教えてください

これまで1,200人を超える学生が参加し、大学に入学しています。また、本プログラムを通じて、現在までに合計3,900万ドル(約45億円)の奨学金が支給されています。

参加大学について教えてください

参加大学は毎年増減しており、本年度どの大学が参加するかを事前に公表しておりません。但し、参加大学は大学認定団体から、認定を受けている信頼ある学校で、進級率・卒業率・教授と学生の割合などを調査したランキングで、中堅以上に位置する大学も多く参加しています。

奨学金の支給額と個人の出費について教えてください

オファーを受けた大学により、学費、寮費、食費の総額費用や、奨学金の支給割合が異なるため、正確な個人の支出総額を事前に見積もることは困難です。また、航空券代、保険料、お小遣いなど個人的出費も必要となります。

具体的な大学やロケーションを選べるのでしょうか？

希望する大学から奨学金を取得するプログラムではありません。予め大学、州、都市などが具体的に決まっている方は注意が必要です。但し、複数の大学からオファーがあった場合、その中から条件を考慮しながら選ぶことができます。

奨学金支給のための審査基準を教えてください

奨学金を支給するかどうかは大学の担当審査官が判断します。基準は大学により様々ですが、高校の成績、推薦状、エッセーなどで判断されます。スポーツ奨学金の場合は、それ以外に、3週間にわたって米国内で行われるショーケースでの実技能力審査も判断基準のひとつになります。

英語力がなくても応募可能ですか？

可能です。奨学金を得られるかどうかは、英語力によって左右されません。入学時に英語力が足りない場合は、大学付属の英語学校で、大学の定める英語基準に達するまで学べます。もちろんその間も同額の奨学金を支給していただくケースも多いですが、留学を成功させるためにも、出発までに極力英語力を上げる努力が必要です。

応募資格

- アメリカの4年制大学、学士課程への進学をお考えの方
- 入学時の年齢が18歳以上、26歳以下の健康的な男女
- 入学年度の3月までに高等学校を卒業されている方、卒業見込みの方
- 日本で大学に行かれている方、大学を卒業されている方、社会人の方
- スポーツ奨学金希望者は、種目とレベル等の条件に該当されている方

Sports

奨学金対象スポーツ種目と募集レベル

	男子	女子
サッカー	平均レベル	平均レベル
テニス	平均レベル	平均レベル
ゴルフ	平均レベル以上	平均レベル以上
バレーボール	——	平均レベル
バスケットボール	上級レベル	上級レベル
ソフトボール	——	上級レベル
野球	上級レベル	——
陸上	平均レベル以上	平均レベル以上

★アメリカの大学には様々なレベルのスポーツリーグがあります。2つのチームを持ち、異文化交流に興味を持っている大学も多くあります。万一、応募者の希望するスポーツのクラブから奨学金の機会が得られない場合でも、大学の一般奨学金の枠から支給されるケースが一般的ですので、奨学金のチャンスはどなたにでもあります。
★プロとして契約をされている方の応募はできません。